



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月31日

上場会社名 日本食品化工株式会社 上場取引所 東
コード番号 2892 URL <https://www.nisshoku.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒川 健
問合せ先責任者 (役職名) 経理部経理課長 (氏名) 中村 圭吾 TEL 0545-52-3181
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	17,194	3.6	781	21.9	894	9.5	634	11.2
2025年3月期第1四半期	16,599	—	641	—	816	—	570	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 663百万円 (△14.2%) 2025年3月期第1四半期 773百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	129.09	—
2025年3月期第1四半期	116.07	—

(注) 当社は、2025年3月期より連結財務諸表を作成しているため、2025年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	51,659	28,817	55.8
2025年3月期	50,121	28,424	56.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 28,817百万円 2025年3月期 28,424百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	40.00	—	55.00	95.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		70.00	—	75.00	145.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,000	3.7	1,300	8.3	1,800	△6.0	1,400	△8.3	284.65

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	6,400,000株	2025年3月期	6,400,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,481,672株	2025年3月期	1,481,646株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	4,918,341株	2025年3月期1Q	4,918,353株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用環境や所得環境の改善に伴い緩やかな回復基調にありました。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東地域の地政学リスクの顕在化、トランプ政権による保護主義的な関税措置の発動等により、経済成長の下振れリスクが懸念される等依然として先行きは極めて不透明な状況となりました。

原料とうもろこしのシカゴ相場は、期初461セント/ブッシェル台で始まり、ブラジル産地の乾燥による作柄悪化懸念があったものの、米国が相互関税の適用を90日間停止すると発表したことによる輸出減少懸念の後退等から4月中旬には490セント/ブッシェル台迄値を上げました。その後、米国産地での順調な生育進捗や、ブラジル及びアルゼンチンにおける豊富な生産高見通し等から、6月下旬には409セント/ブッシェル台迄値を下げましたが、第1四半期末時点ではやや値を戻し、420セント/ブッシェル台となりました。

WTI原油相場は期初71ドル/バレル台で始まり、米国の全世界を対象とした相互関税による原油需要の減少懸念や、OPECプラスによる原油生産量の減産幅の縮小から、5月上旬には57ドル/バレル台迄値を下げました。その後イスラエルによるイランへのミサイル攻撃を受けた中東情勢の悪化懸念から、6月中旬には75ドル/バレル台迄値を上げましたが、両国の停戦合意により中東の原油の供給懸念が緩和したことから、第1四半期末時点では65ドル/バレル台となりました。

米国から日本までの穀物海上運賃は、期初44ドル/トン台で始まり、船腹余剰感は依然として強いものの、石油コークスや南米積み大豆需要が旺盛なことから値を上げ、第1四半期末時点では46ドル/トン台となりました。

為替相場は、期初149円/ドル台で始まり、米国の相互関税の公表による米景気悪化への懸念から4月下旬には140円/ドル台迄円高が進行しました。その後、米中関税交渉の進展を受け5月中旬には147円/ドル台迄円安が進行し、さらに中東情勢の緊迫化から円安、ドル高が継続しましたが、イスラエルとイランの停戦合意によるドル買い圧力の弱まりから、第1四半期末時点では144円/ドル台となりました。

販売面では、糖化製品はインバウンドの増加とイベントでの集客が増えたことで外食産業向け需要は増加傾向となりました。大型連休も好天に恵まれ人流が増加し、販売数量は増加傾向でありましたが、天候の影響で飲料向けを中心とした販売は前年度に比べ若干の増加に留まりました。また、物価高による消費者の節約志向が根強かったことが影響し、製品全体では前年同四半期に比べ販売数量は減少しました。

澱粉製品の販売では、新聞や雑誌のデジタル化普及により需要の減少が続いていますが、前年同四半期と比較して紙の生産量が若干増えたため、製紙向け澱粉の販売数量は前年同四半期並みとなりました。一方、食品用澱粉の販売は外食市場の客数増加により需要が増加傾向を見せましたが、物価高による節約志向が影響し、販売数量の増加は限定的なものとなりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は171億9千万円（前年同四半期比3.6%増）、営業利益は7億8千万円（前年同四半期比21.9%増）、経常利益は8億9千万円（前年同四半期比9.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億3千万円（前年同四半期比11.2%増）となりました。

次に、各部門の販売概況は以下のとおりであります。

(澱粉部門)

澱粉部門は、製紙向け澱粉販売数量が前年同四半期並みで推移しましたが、節約志向の影響を受けながらも外食産業向け需要回復の影響により澱粉製品全体の売上高は34億7千万円と前年同四半期比1億2千万円（3.6%）の増収となりました。

(糖化製品部門)

糖化製品部門は、インバウンドの増加とイベント等での人流回復により業務用販売を中心に需要が回復傾向となりましたが物価上昇への防衛意識の高まりが根強く、売上高は113億円と前年同四半期比3億3千万円（3.1%）の増収となりました。

(ファインケミカル部門)

ファインケミカル部門は、海外市場向け製品の販売が増加傾向でありましたが国内の一部市場向け製品販売が減少傾向となり、売上構成の影響から売上高は6億2千万円と前年同四半期比3千万円（6.7%）の増収となりました。

(副産物部門)

副産物部門は、前年同四半期に比べ一部の製品で販売価格が上昇したことにより売上高は17億9千万円と前年同四半期比9千万円（5.8%）の増収となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は516億5千万円となり、前連結会計年度末と比較して15億3千万円の増加となりました。その主な要因は、売掛金が14億3千万円増加したこと等によるものです。負債合計については228億4千万円となり、前連結会計年度末と比較して11億4千万円増加となりました。その主な要因は、買掛金が9億円増加したこと等によるものです。また、純資産合計は288億1千万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して0.9ポイント減少し、55.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年4月30日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	241	245
売掛金	13,223	14,659
電子記録債権	1,440	1,863
商品及び製品	4,728	4,489
仕掛品	3,536	3,168
原材料及び貯蔵品	4,118	5,165
その他	751	252
貸倒引当金	△4	△5
流動資産合計	28,035	29,839
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,225	4,158
機械装置及び運搬具（純額）	9,237	8,932
土地	1,262	1,262
リース資産（純額）	165	225
建設仮勘定	339	208
その他（純額）	193	179
有形固定資産合計	15,424	14,966
無形固定資産	342	435
投資その他の資産		
投資有価証券	4,934	5,088
繰延税金資産	1,247	1,199
その他	449	442
貸倒引当金	△312	△312
投資その他の資産合計	6,319	6,417
固定資産合計	22,085	21,819
資産合計	50,121	51,659

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,131	2,037
短期借入金	10,735	11,293
未払金	3,773	3,563
未払法人税等	21	103
賞与引当金	1,163	304
役員賞与引当金	37	4
その他	255	916
流動負債合計	17,117	18,224
固定負債		
退職給付に係る負債	4,318	4,302
資産除去債務	143	143
その他	116	170
固定負債合計	4,578	4,617
負債合計	21,696	22,841
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,600	1,600
資本剰余金	328	328
利益剰余金	27,710	28,075
自己株式	△2,148	△2,148
株主資本合計	27,489	27,854
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40	38
繰延ヘッジ損益	△95	△108
為替換算調整勘定	982	1,026
退職給付に係る調整累計額	7	7
その他の包括利益累計額合計	934	963
純資産合計	28,424	28,817
負債純資産合計	50,121	51,659

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	16,599	17,194
売上原価	13,822	14,143
売上総利益	2,777	3,050
販売費及び一般管理費	2,136	2,269
営業利益	641	781
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
持分法による投資利益	173	119
受取ロイヤリティー	35	33
その他	10	17
営業外収益合計	220	171
営業外費用		
支払利息	6	25
固定資産除却損	23	25
為替差損	11	4
貸倒引当金繰入額	—	0
その他	3	3
営業外費用合計	45	58
経常利益	816	894
特別損失		
投資有価証券評価損	—	4
特別損失合計	—	4
税金等調整前四半期純利益	816	889
法人税、住民税及び事業税	44	199
法人税等調整額	201	54
法人税等合計	245	254
四半期純利益	570	634
親会社株主に帰属する四半期純利益	570	634

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	570	634
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	△1
繰延ヘッジ損益	4	△13
退職給付に係る調整額	△0	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	205	44
その他の包括利益合計	202	28
四半期包括利益	773	663
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	773	663

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、とうもろこし等を原料とした澱粉、糖化品、ファインケミカル、副産物の製造及び販売を事業内容としており、とうもろこし等加工事業の単一セグメントであります。そのため、セグメント情報については記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年 6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年 4月 1日 至 2025年 6月30日)
減価償却費	655百万円	748百万円